

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立東文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">・ 貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること・ ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと・ 施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること・ 消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること・ 市から貸与を受けた備品を適切に管理すること・ 利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
SAYAKAホール	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・危機管理マニュアルを整備するとともに、880万人訓練への参画など安全確保に向けた取組を行った。 ・情報セキュリティ研修を行うなど個人情報の保護に対する職員の意識付けを行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・人権研修や接遇研修をはじめ多様な研修を実施した。 ・年度事業計画書に基づき保守点検を行うとともに、適宜不具合箇所の修繕を行うなど適切に維持管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、年度事業計画書における事業数の目標は達成できなかったものの、仕様書の目標水準は達成した。
その他特筆すべき取組	・アミナス北野田及びベルヒル北野田が複合施設であることから、連携を取りながら防災・防犯対策を行っている。

イ 市による状況分析

近隣の学校、文化団体をはじめとする地域住民や利用者とのコミュニケーションを積極的に図るなど、地域文化会館として地域貢献に取り組んでいる。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名	公益財団法人堺市文化振興	公益財団法人堺市文化振興	公益財団法人堺市文化振興	公益財団法人堺市文化振興	公益財団法人堺市文化振興
利用者数(単位:人)	234,040	241,542	232,853	88,676	—
稼働率(単位:%)	89.1	88.8	88.0	80.3	—
利用者満足度(単位:%)	80.4	90.3	96.2	96.2	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて稼働率等が減少したが、過去に利用した方にダイレクトメールやパンフレットを送付するなど、これまでの利用者が再度利用されるよう努めた。
意見・苦情・要望等への対応	・利用者からの意見や苦情等はなかった。 ・アンケートの意見を参考に、事業のより一層の広報など、費用をかけずに対応できることを迅速に行った。
その他特筆すべき取組	・無観客でのライブ配信など、コロナ禍に対応した事業を行った。

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響により稼働率及び利用者数は減少したものの、アンケートの結果分析を行って運営につなげるなど満足度は高水準を維持した。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
指定管理者名		公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団
収入	指定管理料	116,168,000	114,148,000	114,710,000	124,000,339	112,700,000
	利用料金	50,867,037	49,607,451	45,192,805	23,846,300	43,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	6,116,146	7,619,266	13,103,354	13,229,852	4,644,000
合 計		173,151,183	171,374,717	173,006,159	161,076,491	160,344,000
支出	人件費	59,515,709	60,724,711	63,724,022	55,613,569	60,869,000
	委託料	66,712,925	68,185,280	79,912,902	75,477,964	63,377,000
	総支出額に占める 委託料の割合	39.8%	40.5%	43.8%	46.2%	39.5%
	修繕費	2,568,441	1,636,124	1,470,506	3,001,862	2,897,000
	光熱水費	22,271,066	21,435,757	20,540,796	15,655,051	20,000,000
	その他	16,405,749	16,177,321	16,654,306	13,669,075	13,201,000
合 計		167,473,890	168,159,193	182,302,532	163,417,521	160,344,000
収支差額		5,677,293	3,215,524	-9,296,373	-2,341,030	0
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		-	-	-	-	-

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
収 入		1,507,708	1,509,230	2,112,642	873,496	1,835,000
支 出		1,857,953	1,733,824	2,282,512	829,607	1,536,000
収支差額		-350,245	-224,594	-169,870	43,889	299,000
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	新型コロナウイルス感染症の影響により、収容率の制限や時短営業を行いながらの事業実施や貸館事業でキャンセルや利用控えが相次いだことから、利用料金収入が大きく悪化したが、節電・節水等に努め、光熱水費等の経費縮減を図った。 指定管理料には市の休館等の指示で還付した令和2年度の利用料金等相当分として市が支払った11,300,339円を含む。その他収入には市の休館等の指示で還付した令和元年度の利用料金等相当額として市が支払った4,657,563円を含む。
------------	---

ウ 市による状況分析

経費の縮減や市が新型コロナウイルス感染症に係る令和元年度及び令和2年度分の利用料金の還付等の補填対応を実施したが、収支差額はマイナスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
ホール活用事業	6回以上	26回
ギャラリー活用事業	3回以上	2回
生涯学習施設活用事業	12回以上	145回

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	250,000人以上	88,676人
施設稼働率	85%以上	80.3%
満足度	利用者の満足度:90% 文化芸術振興事業に対する満足度:90%	利用者の満足度:96.2% 文化芸術振興事業に対する満足度:99.6%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	51,600,000円	23,846,300円

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の中止があったものの、事業回数の目標水準はギャラリー活用事業を除き達成した。一定期間、臨時休館を行ったことや利用控えにより施設利用者・稼働率は目標に届かなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	主催事業においては、ギャラリー活用事業を除き達成した。また、利用控えなどにより稼働率・利用者数・利用料金収入は目標に達しなかったが、施設の状態や職員の対応など高い利用者満足度を得られた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、主催事業が延期・中止になりながらもギャラリー活用事業を除き事業数の仕様書の目標を大幅に上回ったことは評価できる。また、稼働率・利用者数は目標に達しなかったものの、臨時休館や利用控えによるものと考えられる。
今後の取組	今後は子どもや高齢者などターゲットを絞った事業展開を行い、券売率の向上を図る。また、学校や企業、地域団体などにアプローチし、利用回数の増加につなげる。	今後も地域と協働した事業の展開や、ホール練習利用促進や稼働率の低い諸室の幅広い用途での利用など、多くの方が文化芸術に触れる機会をより多く享受できるよう図りたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの